

第6学年 外国語活動学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅱ
 児 童 6年4組 男子19名 女子16名 計35名
 指導者 伊 藤 修 ジョン・マティシ

1 単元名 Lesson 6 What time do you get up ?

2 単元について

(1) 教材について

本教材には二つの目標がある。一つ目は、「起きる」、「寝る」等の生活を表す表現に慣れ親しむことや、1日の生活についての時刻を尋ねたり答えたりする活動を通して、コミュニケーションを図る楽しさを味わうことであり、二つ目は時差について扱うことで、世界の様子について児童の興味を広げることである。

子ども達は登校時刻や習い事の時刻を尋ね合ったり、遊びの約束を決めたりする際に時刻を用い、自分の生活について尋ねられた場合にも明確に答えられることから、英語を用いてのコミュニケーションを図る活動も楽しんでできると考えられる。また、「What time〜?」という表現は、中学校でも基本的内容として扱われており、日常的な会話表現としてコミュニケーションを図るために有用なものであることから、体験的に慣れ親しませたい。

(2) 児童について

児童は、外国語に対して意欲の高い方ではなかった。ALTの話す言葉を音声として真似しているが、意味が分からないために自信がもてず、楽しんで活動することには結びつけられずにいた。そこで、言葉や会話文を分かりやすく補助・説明することや活動内容の連続性や関連性を意識した振り返りを行うことで、少しずつ自信をもって活動できるようになってきている。ペア学習やインタビュー等の活動を通して、英語でのコミュニケーションを図ることに慣れてきており、本単元において時刻の尋ね方や話し方に慣れ親しませ、生活を表す表現を互いに尋ね合う活動をすすめることで、積極的にコミュニケーションを図ったり楽しんで話したり聞いたりする意欲を高めていくことができる。

時差は児童にとって実感しにくいものなので、それが生じる理由にふれるのではなく、世界の国々の生活に関わる時間について共通することや独特の時間の過ごし方等について知らせ、他国への関心をもたせるようにしていく。

(3) 指導にあたって

児童の実態や本単元の内容から、より意欲的にコミュニケーションを図ったり言語や生活への関心を高めたりさせることを考え、次の事に留意して指導に当たりたい。

- ① 60までの数字の言い方をこれまでの学習から気付かせる。
- ② 繰り返し聞いたり話したりすることで、時刻の言い方や動作の言い方に慣れ親しませる。
- ③ お互いの生活の様子を知り、同じところや違うところに気付かせる。
- ④ 時差と人々の生活について関心が高める。

時刻や動作の言い方や尋ね方は日常生活の中の様々な場面でも使うことが多いため、本単元で扱う言葉以外の動作を表す言葉にも関心をもたせるようにし、進んで使ってみようとする意識をもたせたい。

3 単元の目標

○積極的に自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。

【言語や文化に関する気付き】

4 指導計画 (What time do you get up ? : 5時間扱い 本時3/5)

時間	学 習 活 動
1	時刻の言い方や尋ね方を知る。
2	時刻の言い方や尋ね方に慣れ親しむとともに生活を表す表現を知る。
3	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 (本時)
4	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
5	時差があることに気付くとともに、相手に分かるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。

5 本時の指導について

(1) 目標

生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

(2) 評価規準

観 点	
外国語への慣れ親しみ	起床、就寝の時刻について尋ねたり話したりする表現に慣れ親しむ。

(3) 指導の構想

終末では「起床」、「登校」、「就寝」時刻を尋ねたり話したりして気が付いたこと、分かり合えたことについて振り返らせ、次時の活動では互いの生活の様子について尋ねたり話したりして、児童が言葉でコミュニケーションを図る楽しさを感じながら、さらに聞いてみたい、話してみたいという意欲をもたせる。

(4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点(方法) ☆見通す・振り返る活動
導入 7分	1. 挨拶をする。 2. 1から60までの数字を言う。 3. 前時を想起し、本時のめあてを知る。	全 全 個 全	○全体に挨拶し、数名とあいさつする。 ○1から60までの数字の中からいくつか話したり、クイズ形式で答えたりさせる。 ☆前時に予想したALTの「起床」、「就寝」の時刻の回答を聞き、自分と比べさせる。
	みんなの生活をのぞいてみよう。		
展開 30分	4. Let's Chant "What time do you get up?" を言う。 5. 時刻の尋ね方、話し方を確認する。 What time do you ~? I get up/ go to bed at ~. 6. ランキングゲームをし、早寝早起きの人を見つける。 I get up at ~. I go to bed at ~.	全 全 グループ	○音声教材やALTの発音を聞きながら一緒に発音させる。 ○What time do you get up ?/go to bed? を、文と絵カードで表示する。 ○ALTの発音を聞きながら一緒に発音させる。 ○ゲームの要素を入れて、楽しく活動できるようにする。 ○グループで机を合わせるよう指示し、カードを配る。 ○グループで「起床」・「就寝時刻」を尋ね合い、早寝・早起きの順を決める。
	7. インタビューをする。 (3人にインタビューする。)	個	○カードに自分の時刻を記入させる。 ○3人にインタビューし終わったら、気づいたことをカードに書くように指示する。 ● [外国語への慣れ親しみ] 起床・就寝の時刻を尋ねたり話したりする表現に慣れ親しんでいるか。(観察)
終末 8分	8. インタビューから気づいたことを発表する。 9. 本時の学習を振り返る。	全	○数人の児童に発表させる。 インタビューで気づいたことや、尋ねたり話したりしたことについてふれさせたい。(振り返りカード) ☆意欲や理解したことのほかにも、気づきや分かり合うことの楽しさについて振り返らせるとともに、次時の学習の見通しを持たせる。
	みんなより寝る時刻が遅かった。○○さんが早起きでびっくりした。晩ご飯等他の時刻についてもみんなにきいてみたい。		